（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日の翌日休刊 明治四十三年十二月廿五日（日曜日）第五百八十九號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如しいそぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

土地調査事業の說明（四）

（總督府臨時土地調査局）

第四章 土地調査ご企業者

土地の調査又は土木鑛山運輸等に關する事業を企劃する者に便益を與ふること大なり今其重要なる者を擧くれば左の如し

一、容易に河川、道路の新設改修等の事を企て得る事、河川、溝渠、道路の屈曲は地圖を繙きて一見直ちに其改修すべき所を知り得べし例之は近距離間に數條の並行する途有る時は其一を存し他を廢するの便宜を知り得べきが如し其利害得失卓上に瞭然たり土地調査の施行は此等の企業家に多大の便宜を與ふる者と謂ふべし

二、容易に地主ノ住所姓名を知り得べき事、水利を開き耕地を整理し道路改修新設せんと欲する場合等に其關係の地主を知る必要有るも現今に於ては其土地の所在地に榜示し數月の期間を徒費し地主の申出を待つにあらざれば此を知ること能はず其迂遠にして不便なること誠に名狀すべからざる者有り然るに土地調査を施行する時は地圖を按して地番を發見し此を基礎として土地臺帳を閲覧する時は直に其地主を知得することを得べし

●蔚山の捕鯨成績

蔚山近海に於ける捕鯨事業は去る十月より活動を開始したるが本年は當初より天候不良勝なりしと鯨の出沒盛なるとに依りて捕鯨成績も案外不良にして一般に不漁をかこち居れり今試みに本年の捕鯨成績と昨年同期間に於ける夫れとを比較するに昨年に五隻の捕鯨船にて其捕獲數二十九頭なりしに本年は捕鯨船數七隻にして昨年より二隻の増加を見たれども其捕獲數僅かに十頭に過ぎず殊に内一頭は捕獲後長時間を要したるに依り鯨肉腐敗して食用に堪へざるに至り近頃稀なる不振の狀態にありといふ

歳末の金融景況

（韓銀木村重役の談）

本年は過去四五年間に比して商況最も順境の氣なるが其原因は米及び大豆の豊作と日韓併合の結果として人氣の引立ちたるに基くものにて各地を通じ商況極めて活氣を呈し居るが如し元來朝鮮の金融繁忙時期は例年十月より翌年三月なるが歳末は支拂資金の動くに依りて一層の繁忙を告げ居れり其羅針盤たる銀行券の發行高は昨二十三日の總高一千九百九十萬圓を示すを見るも明かなる次第にして舊歳末に至らば二千万圓以上に上るに至るべし市中商人の語るところに依れば多くは不景氣なりとて悲觀するものあるも邇來商人の常套語にして一般の狀況よりすれば僅かに好景氣なりといふことを得るなり殊に内國人の居留民は京龍間を併せて約五萬人に達せる上に恩賜公債の下附もある故益々好況を呈し來れりと云ふ

●和歌募集

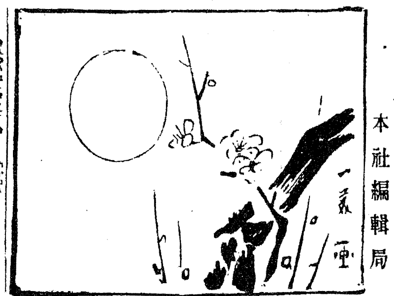
勅題「寒月照梅花」

選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日

本社編輯局



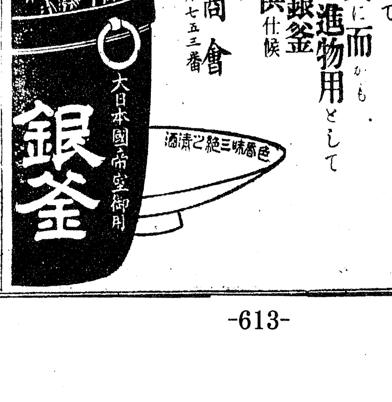


山中鹿之助

第四十五回 西尾麟慶演

倩て樂岩寺右馬之助は村上家の忠臣で信州一の大軍師と云はれましたもので ありまする、世を捨て今茲に閑居致して居ります、娘の更科と孫の鹿之助が此處に尋ねまする年九十歲に相成り殆んど仙界に入りたるかと思許ふり兩人來るを悟つて莞爾と笑ひ 樂「ア、汝等を見るこそ俗中の樂み、未だ下界を離れざれば、骨肉の愛も忘れがたく、然れば以て、又之れ一ツの樂みと謂つべし、と鹿之助が熟々と見まして 樂「ア、汝惜むべきかな、晩年の命がない短命に產る、汝不幸にして其爲す處功無し、併し志しは空しからず多少立に相違ない、努々忠の一字を忘る勿れ、別に數訓する處も無い、父母あり祖父ありと思ふべからず、天晴れ武士の道を守つて國の憂ひを除き民の安寧を計り、卿誰を安じ奉まつるこそ眞の武士と云ふべきなりと、數訓して凡を一日餘に及ぶ、又鹿之助へ對して何事なるか軍學の秘法を傳へました夫より名幾は惜くも別を告げて茲に師匠たりし井上九郎光興の事を尋ねましたるに、是は去年の秋亡き人の數に入りましたとの事、師の恩を思ひ鹿之助墓參を致しまする、信州岩宝田の片邊りに井上の社と云つて今だに處の者が之を尊敬致して居ります、且樂岩寺が住で居りました處は小諸より十八丁午未の方に當つて樂岩寺と云ふ一村があります、其處に一ヶ寺を建立してありまして、實に其古跡は昔しを思はれまする、倩て鹿之助は茲で信州の地を立退き、上野の國へ差掛りました、往ども〳〵山のみにして宿るべき家もなし、殆んご困難を致しましたが、樹下石上を宿とすることは常に思つて居りするから、屈する事も御座ひませんが強雨暴風は實に恐れます、是より大木の陰岩の間古社古寺の限りなく入りまして夜を明かし、之を常と致して居りましたが、今宵も亦此上野國妙義山の麓に至りまして、何れにも宿るる方もなく漸く尋ね當た古寺一字是に夜を明す心得で荷物の内より油紙を取出し、夫を敷て横はり荷物を枕として一睡を催ふし彼是夜の四ツ半頃と思ふ時分に、頻りに騷しき音が致しまする、斯る深山に何事ならん只今來るものは何れも獸類か怪物に相違あるまじ、如何なる魔物が來るものかさ之を眺めて居りまするさ大きな光り物が致しまするさ、同時に非常な音が致しますゝ、鹿之助は何者であらふと思つて見て居りまするさ、何か光り物の中に人らしきものが見へる、不思議なりと思つて居りまするさ難て鹿之助を目がけて切てかゝる樣子鹿之助聲をかけて 鹿「アイヤ逸るまい〳〵と云ふ」と其者は ○「何を化物め今夜は助けちやア置ない、株と田地を取返すのだ、元の名主になるんだ、化物め……… 鹿「アイヤ怪しいものではない、某は山中鹿之助と云ふものだ」と云ても其男は少しも構はず、鎌を持て切込んで來るから據ろなく鹿之助体を躱し鎌の下を潛つてヒタリと利腕を押へる、流石は大力無双の男と見へて、エ、ッと云て組付て來る樣だ、鹿之助は元より無双の豪傑なれば忽ち其處へ男を投倒し、鎌を奪ひ取て 鹿「オイ若ひもの逸つては成ん、氣を確に持て此方は行暮て茲へ一泊致したものである、決して怪しいものではない、鎮れ〳〵」と云ふ男は聞て始めて氣が付き 男「ヘイ……と云ひました 鹿「其方は何んだ、先刻より拙者を見かけて化物だの、助けちやア置ぬ杯と云ひ・又株と田地を取返して元の名主になるんだとは何んの事で 男「こ、れ爺さんは、だね化物じやないねェ私は此の村の茂作と云ふので、實は此下の村を妙義村と云ふが此の山は妙義山と申します此處に何んだか怪しいものが出て、子供や女ども攫つて困るので御座ひます、ソコデ私が村の衆に約束して、化物を殺せば私の親父が元名主をして居たのを九右衛門と云ふ奴に取られたのを取返して田地も株も取返してくれると云ふ事で、夫で此處へ來たんであります、と云ふを聞て鹿之助大ひに感服をいたしました





東京電報（廿四日）

△聖上御容態　御風氣にあらせらるゝ　聖上陛下の御容態はさしたる事なしと承はる

△閑院宮の御歸京　沖縄に御出張ありたる閑院宮殿下は本日恙なく御歸京あらせられたり

△新年拜賀と除服　伏見、閑院、東伏見、久邇、梨本、朝香、東久邇、北白川、竹田の各宮殿下には晋國尼公遷化に就き御服喪中の處一月一日新年拜賀、五日新年宴會、八日陸軍始二月十一日紀元節等には何れも特に除服すべき旨御沙汰ありたり

△皇族財産令　過日の皇族會議に於て諮詢せられたる皇族財産令は二十四日の官報にて公布せられたり

△調度寮と自働車　調度寮には今回自働車を置く事となり技師をして之れに關する技術を司らしめ技手をして技術に從事せしむる由

△觀兵式總指揮官　明年一月八日陸軍始觀兵式總指揮官以下左の如く任命せられたり

東京衛戍總督陸軍大將　川村景明
陸軍始觀兵式諸兵指揮官仰付　陸軍少將　本郷房太郎
觀兵式參謀長仰付
同　參謀仰付　阪本（不明）

△宮内官の減員　皇室令を以て内大臣官制、皇后職官制、東宮職官制、皇族附職員官制、帝室會計審査局官制、帝室林野管理局官制、御歌所官制、帝室博物館官制等の一部に改正を行はれて夫々減員せられ尚宮内省官等俸給令中にも改正を加へられたり

△兩院議長參内　二十四日午前十時徳川貴族院議長長谷場衆議院議長は參内して奉答文を奉呈したり

△議會劈頭の請願　二十七議會開會劈頭に提出されし請願書は茨城縣の利根川水害豫防工事速成の件下利根川分疏開鑿に關する件等なり

△衆議院議事日程　二十四日衆議院議事日程は議事全院委員長選擧の件常任委員選擧の件等なり

△政府委員　政府委員發表さる朝鮮總督府よりは大屋鐵道局長官荒井度支部長官、兒玉會計局長等三名任命されたり

△衆議院豫算委員長　衆議院豫算委員長は原敬氏當選せり

△衆議院の休會　衆議院は一月廿日迄休會と決定せり

△日英博の殘務終了　日英博覽會の殘務整理終了し和田總長の一行は廿四日倫敦發歸朝の途に就けり

△東北九州兩大學官制　東北、九州、兩大學官制を勅令を以て公布せられ何れも明年一月一日より施行せらる

△久留米市長　福岡縣久留米市長推選候補者正六位勳五等若林卓爾氏就任裁可を經たり

△浦鹽の革命黨　烏拉西保斯德克にては革命黨の手にて同地監獄を爆破せんとの計畫ありしも幸に成功せず目下警戒中なり

雜報

●帝國議會と勅語　第二十七議會開院式は二十三日擧行さる既報の如く　天皇陛下には行幸御見合と相成り開院式勅語は桂總理大臣捧讀諸員最敬禮の裡に謹で捧讀し奉り徳川貴族院議長進んで之れを拜受したり

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々深厚ニ英國トノ同盟愈々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ嘉ブ朕ハ東洋ノ平和ヲ保持セムカ爲メ嚮キニ韓國ト協約ヲ重子又韓國ヲ帝國ニ併合セリ朕ハ衆庶ト共ニ永ク其効果ヲ收メムコトヲ期ス朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ明治四十四年度豫算案及法律其他ノ議案ヲ議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ盡サムコトヲ望ム

●總督公使の會見　汪清國公使は愈々廿五日午前十時を期し寺内總督を官邸に訪問し會見をなす筈

●總督の兩宮參候　寺内總督は二十五日午前十一時德壽宮に參候終つて昌德宮に參候御使差遣の御禮を兼ね歸任の挨拶を申上る筈

●寺内總督の登廳　着任したる寺内總督には廿四、廿五兩日靜養來週月曜日より登廳政務を見るべしと

●總督の北方視巡　寺内總督は歸任後明春匆々地方巡視を爲すべしとの噂なりしが確聞する處に依れば本年内に出發鴨綠江方面に向はるべし

●總督の退京期　去二十三日歸任したる寺内總督は別項記載の如く地方巡視を了り更に諸般の政務を夫々裁決したる上にて明春十五日頃當地出發東上の豫定なりと

●清國公使の退京　滯在中なる汪清國公使一行は廿五日夜同地の觀光の上其夜の連絡船にて下關に向ふ豫定

●各部長官報告　二十四日午前十時より山縣政務總監以下倉富、石塚、木内、宇佐美の各部長官相前後して寺内總督を官邸に訪問し總督不在中の政務に關し報告したり

●提出議案審議會　二十七日の長官會議には寺内總督以下山縣政務總監各部長官列席提出議案審議會を開く筈なるが其重なるものは豫て法律取調委員會に於て審議結了したる朝鮮人に適要すべき外國歸化法、民籍法、民籍準據法等にして以上は審議の結果内閣に送付し今期議會に提出の運びに至るべく尚は同時に土地收用法其他數回の法規を審議すべしと

●總監部の牛乳檢査　警務總監部衛生課にては時々府内に在る日鮮人の賣搾する牛乳に就て檢査を爲しつゝあるが本月も日鮮人九名の牛乳に就て二回檢査を行ひたるに孰れも良好也と

●正月に就き伺書　從來朝鮮に於ては陰暦を以て年中行事を認めたるも併合の結果來る正月は陽暦を以てすべきか陰暦を以てすべきかに付き迷ひつゝある由にて各地とも官衙へ問合せ來るもの頗る多しと云ふ

●栽培地無償拂下　朝鮮棉花栽培會社設立に付一部紡績業者の請願に係る朝鮮内地荒無地無償拂下、鐵道運輸賃低減、輸出税撤廢等の件に就き寺内朝鮮總督は歸任前各關係者に對し總督府は金錢上の補助を與ふる餘裕なきも其他の方法に於て獎勵の方針を執るべき旨を暗示せる由、前記棉花會社の栽培計畫面積は約十二萬町歩にして同社は之れを全部無償にて拂下げん希望あるも別に開墾費として三百五十萬圓を要すべしと云へり

●有望な新捕鯨場　慶尚南道三千浦、蛇梁島及び昌善島一帶の近海は由來脊鯨及び赤鯨と稱する種屬の饒多なる處にして日露戰役前三重縣人某々等が經督にて非常の漁利を得たる歴史さへあり近來も許多游泳するを見より同近海は新捕鯨場として將來有望なるべきを察し既に當局に請願せるものありと

●朝鮮貿易旬況　下關門司兩港に於ける本月中旬の朝鮮貿易の旬況は左の如し

	下關港	門司港
移出	三〇一、五七八	七八、〇五五
移入	一三六、〇七〇	五一、四四三
移出超過	一六五、五〇八	二六、六一二
△移出重要品		
精糖	二〇、二四〇	九、三〇〇
清酒	九三、六五四	二、二六六
綿糸	一七六、六八一	……
綿織布	一九三、九三八	三、一六六
△移入重要品		
大豆	八一八〇	一四、五〇〇

●韓海漁業株好況　愈明年一月下旬創立の準備なれる韓海漁業は其の業務の進捗に連れて世間に其の實質が明かになりたるが如く近來漸次希望者の增加を見るに至り殊に大韓漁業組の今冬成績優良なるを傳へしより二十一日に至りて東京方面より二三千株の大買物神戸某商店へ入りたる由にして頗に活氣を生じ諸株の鈍狀なるに拘らず其の權利は三圓五十錢乃至四圓を唱ふ

寺内式の發揮

寺内總督が歸任された、此極寒に際して歸任された、尤も役目上當然の事だと云へば夫迄の事だ。併し普通役人の根性から云へば歲末歲始の休は役德であるのだ、否な普通の役人のみならず、大臣大官と雖も歲末歲始の休は當然に受くべきものと心得、コレを避寒靜養等に消すを以て常例と心得て居るのだ、之れを故伊藤統監に見る、公は歲末極寒に際しては對議會の爲と稱し每年大磯に逃けたものだ、之を故曾禰統監に見る、子は伊藤公と同じき口實の下に去つて片瀨に寒を避けたものだ尤も公子共に健康の許さぬ事情もあつたらうが避寒の爲めに任地を空しくした點に付ては同じ事だ。第三世統監にして現總督たる寺内將軍は如何、將軍の今度歸任されたのは歲末歲始の休と議會前の小閑とを犧牲としてであるのだ、議會が始まれば多忙到底任地を目鮮ひ暇を有せぬ事になるのだ、故に此極寒の時に際し藤公曾禰子の前例を破つて態々歸任されたものだ。聞く總督は東京を發するの前每朝冷水を浴びたと、冷水を浴びたのは老體を鍛へて寒氣に當るが爲だ、噫寺内將軍、彼れは斯迄に身を苦しめ國事に盡さんとするのだ。寺内總督の施政、开が如何なる結實を爲すべきか甘未來の問題に屬する御用記者ならぬ余輩は總督の施政を今に於て無條件に謳歌するを甚だ無意義なりと信ずる、併し總督の施政と總督の行爲とは自から別物であるのだ、余輩は老總督が極寒を恐れざるの意氣を壯快に感ずる、而て今度の歸任を寺内式の發揮なりと解する寺内將軍が歸任された、聞く將軍の滯在は實に短いソウだ、然らば將軍たる者此短かき滯在中に於て何事をば爲すか。

●朝鮮漁業研究會　明年一月廿五日より鹿兒島市に於て朝鮮海漁業研究會を開催せらるゝ由なるが長崎縣にては同會を機とし保護期節、保護區域、許可漁業の種類、禁止制限事項、制裁程度其他に關し協議に附したき希望ある趣なれば聯合各縣の同意の上は前問題も併せて同研究會の問題として附議するに至るべし

●仁川月尾島橋取放　仁川港名所の一に算せられたる月尾島橋梁は先頃より花房町湯淺組にて取放し工事中の處一昨日橋梁丈の取放し終了せしが殘りの捨桁は來春早々取放しに着手す

●秋山參事官着任　朝鮮總督府參事官法學博士秋山雅之介氏は二十三日入京浦尾旅館に投宿したり

●民長の議員招待　古城民長は二十三日午後六時より巴城館に民團議員一同を招待したるが出席者主客二十八名にして席定まるや民長の挨拶に次で和田議長の謝辭あり宴酣なる頃中島、中村、曾我、秋吉、石井、釘本、大村（百）竹内、山口の諸氏は交る〳〵立つて民團の施政、來るべき選擧等時事問題に就て所感を演說し近來稀れに見る盛會なりき

●官民有志の送迎會　官民有志の發企にて廿四日午後六時より花月に於て榊原、柴の新舊參謀長の爲め送迎酒宴を張り出席者百餘名にて盛況なりしと

●電軌敷設許可　豫ねて日韓瓦斯電氣株式會社より出願したる南大門通り現在線路より分岐して黃金町通りを經て永樂町角竹洞派出所前に至る電軌敷設は二十三日付を以て警務總監部より許可せられたり線路は單線三呎三吋にして道路の北側に敷設し認可のありたる日より八ケ月間にして竣工すべしと云ふ

歲末の金融に就て

第一銀行營業課長河野政次郎氏談　歲末の金融と申しても別に申上ぐるやうなこともないやうです大低どの銀行も同じことだろうと思ひます兎に角此地では未だ官吏本位ですから先般來の官吏の移動年末賞與金の廢止年末贈答の禁止などといふものが多少の原因をなして居るのは事實です而し貿易商とか米穀商とかいふ大きな取引が少いのですから歲末と申しても大きな變動はありません多くは雜貨商ですから間斷なくまあ同一歩調を行くといふ譯です金利ですか、別に從來のものに變りはありませんが心持ち下げて居ます、まあ世間では當地の金利が高いなどと申しますが決してそうぢやありません內地でも田舍では不動産抵當で二錢五厘位ですナー當地では色んな經費も要りますから多少之に比較して高いのは止むを得ません夫れに當地に於きましては韓人始め皆金利の高低を問はずに貸して呉れる處へ行くといふ譯ですから內地のやうに一厘でも五毛でも安い處を探して借りるといふのとは違ひますから此の邊から考へても分りますこんな事情ですから金利と申しても來春になつてからどうするといふこともありません云々

韓一銀行支配人　金鎭玉氏談　歲末の金融と申しましても私の方では舊暦ですから來年の一月末でなければ決算をしませぬから本年の七月から今月迄の即ち下半期の景況に就て御話いたしませう御承知の通りに人氣は誠に宜敷です公債證書が渡りますし未だ金は渡りませんが將來確實に這入るといふ見込で從來辛抱して居た者も着物の一枚も作へやうといふ鹽梅です夫れに地方が鎭まりましたのも此の好景氣に原因をして居ります本年は此の前の大擾亂以來始めての好景氣で商況は盛ですし二三年來寂寞でした銀行も多忙を極め利益もあるといふ譯です貸出は非常に增して居ります本銀行と實際取引してる商人は矢張舊暦で決算するのですから金利ですか貸出日歩は二錢五厘以上四錢位で先づ二錢三四厘です豫金の方では當座が一錢小口の方が一錢二厘ですまあ此の景氣の好いのは穀物の豊穰と結婚が切りに流行しましたからと思ひます云々

●選擧有權者數　京城民團議員の選擧有權者は十二月十二日現在にて四千四百九十五名にして內官吏千六百一名普通人二千八百九十名なるが尚は龍山の分は未定なるも八九百名程の見込なるも總數五千四百名內外なるべし因に選擧名簿縱覽は一月元日より一週間許すと云ふ

議員選擧の分裂

民團議員の選擧に關し各方面に已に運動の開始されたることは既報の如くなるが目下の形勢に因れば候補推選の團體は東部中部西部及龍山の四つに分裂するものゝ如し尤も明治町組の如きは何れの團體にも與みせずドコ迄も明治町組の推選する候補者を選出することに決定したる由なれば或は各方面に亘つて形勢の變化を見るやも知れずと云ふ

龍山側の形勢

龍山側民團議員は海津氏を始め舊議員の全部が再選さるゝものゝ如く豫期されつゝあるがサテ今回十名連記と決定したるに就いては有權者數の總體に少なき龍山は迚も京城に對して從來の位置を保つべくもあらず且つ舊議員の外に新候補者も立つべければ勢ひ京城組の何れとか握手するの必要を生ずべく夫れかあらぬか機敏なる某々等は已に西部の某々等と共通候補の件に付き密議を凝したりと云ふ

三浦前理事官

▲ストックホルムにて

拜啓追々寒威加來り候處愈御健勝堅實なる朝鮮開發の旗幟を翻し、不相變御慣勵之段賀上候小生儀十一月二十日京城發後途中無恙十二月二日莫斯科着此處にて同行の二夫人と別れ即夜露都に向ひ翌朝彼得堡着四日露都發今六日「ストックホルム」に安着致候間御報知申上候永年朝鮮在勤中各方面より相受候多大の厚意に對しては海外に出でゝ一層感謝の念を强め候のみならず赴任の途次錦地に立寄り候節は經濟協會を始め官民各位より懇切なる御送別に預り偏に感佩の外無之候然るに其の節は滯在僅かに四日にして一々御挨拶申述候暇もなく乍不本意其儘に打過居候幸に貴重なる貴紙の餘白に此狀を御揭載被下御禮に代ゆることを得ば仕合の至りに存候敬具

十二月六日　在瑞典　三浦彌五郎

峯岸繁太郎樣

●司法部員忘年會　二十八日午後司法部倉富長官以下、安住、山邊、草場の各課長神野事務官部員三十餘名は忘年會を催す筈

公人私人

▲上原辰三郎（釜山分隊憲兵中尉）二十三日入京山本旅館
▲畑尾健順（大和新聞記者）同上不知火

▲仁川港の船舶出入▼

▲天地丸　廿五日大坂より入港
▲山陽丸　同　大坂より入港
▲香稚丸　同　唐津より入港
▲英國インタラヲオ　同　上海より入港
▲日高丸　同　芝罘へ向け出港

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十二月廿四日	二四、五七〇、五四	二八一

民團議員豫選投票

本日紙締切迄の着票

四十五票　和田常市
四十票　釘本藤次郎
三十八票　中村再造
三十六票　城六太
三十票　大村百藏
三十票　松浦源治
二十七票　關繁太郎
二十七票　原勝一
二十五票　兼古禮藏
二十五票　石井新
二十三票　林田金次郎
二十三票　渡邊與三郎
二十三票　秋吉富太郎
二十三票　高橋章之介
二十票　山口太兵衛
二十票　待井三郎
二十票　近藤佐五郎
二十票　深水清
二十票　執行猪太郎
十九票　石橋利平
十八票　森勝次
十八票　田村義二郎
十五票　渡邊五郎
十票　田中始一郎
十票　三好和三郎
十票　大村保太
九票　進辰馬
七票　海津三雄
五票　古城梅溪　同　池田長兵衛
同　坂敬明　同　中村司馬之介
四票　梶原末太郎　三票　鮎貝房之進
同　大久保雅彥　一票　宇佐川一正
同　白木爲次郎　同　牧山耕藏

▲治外法權▼

寺内總督が歸任された、ヤレヤレコレで留守居役の山縣總監や明石總長や記者の肩が拔けた▲諺に曰く鬼の留守中に洗濯と從來は統監が留守になる、統監府大小の官吏が油を賣つたものだ、否な油を賣る許りでなく、朝寢夜遊び殆んど日常の事務を執らなかつたものだ、併し總督の不在中は留守取締が良かつた爲か、ソ程のヒドイ事はなかつた▲尤も石川や濱の眞砂の盡の通り世に人間の盡きぬ限り、泥棒は盡きぬものだ、で眞の泥棒の盡きぬ限り月給泥棒も盡きぬものだ▲甚だ壁訴訟に似てオカシク聞ゆるかも知れぬが總督の不在中は萬事は平穩であつた、併し月給泥棒をしたものが役人中ゝ鬼の留守に洗濯をしたものが幾らもあつた樣だ▲鐘路の電軌は官の命に因つて已に片側敷設と決定した、併し日鮮兩商業會議所及び鐘路の住民等は片側敷設を不便とする▲記者の誤聞かも知れぬが當局官吏中の或者は片側敷設を寺内總督の命令だと云つてるソウだ、果して然らば總督は何を以て片側敷設を可なりとしたのであろうか▲今や幸に總督が歸任された片側論が果して總督の命令としても一般住民に不便だとすれば其改令を請ふに何の差支はないのだ▲商業會議所や鐘路の住民等は此際總督に縋つて中央敷設の意志を達すべしだ▲從來は民團議員の選擧に取締がなかつた、併し今度は內地の市町村議員選擧取締法が準用さるゝソウだ。

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　二十三日の分
乘降客　一、二〇[illegible]七
乘車賃金　一、九〇四、四八
▲南大門驛荷扱高　二十三日の分
發送　一一噸　到着　九三三噸
貨物賃金　九六三、三四
▲龍山驛の乘降客　[illegible]三日の分
乘車客　二〇六　[illegible]〇四
乘車賃金　二五〇[illegible]
▲龍山驛の荷扱高　二十三日の分
發送　二噸　到着　二七八噸
貨物賃金　五五、一四

●年末と市場新設　各[illegible]場の移轉及び新設の現象を來し居れるが殊に昨今朝鮮の年末も近づき來りたるより各道より市場新設の請願をなすもの增加し來れりといふ

●死鳥移出入　大邱商業會議所の調査に依れば釜山移出門司移入鑑定價格及び税率は死鳥にありては從價の三割とし標準價格は鳥價の高低により變動するも[illegible]にて一定せざる由なるが現今の鑑定[illegible]は三十錢▲雉子[illegible]十錢▲白鳥一圓五十錢▲山七面鳥一圓五十錢但右は一羽の鑑定價格を示す尚税率は從價の五分なりと

朝鮮總督府試補を命す　土地調査局書記官　藤田嗣雄
同　藤川利三郎

土地調査課勤務を命す　總督府書記官　和田一郎

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 二十三日の分 乘車客 一七〇 降車客 二三七
乘車賃金 一、九〇四、四八
▲南大門驛荷扱高 二十三日の分
發送 一一噸 到着 九三三噸
貨物賃金 九六三、三四
▲龍山驛の乘降客 二十三日の分
乘車客 二〇六 降車客 二〇四
乘車賃金 二五〇
▲龍山驛の荷扱高 二十三日の分
發送 二噸 到着 二七八噸
貨物賃金 五五、一四

●年末と市場新設 各道路改修工事の竣工と共に各地に市場の移轉及び新設の現象を來し居れるが殊に昨今朝鮮の年末も近づき來りたるより各道より市場新設の請願をなすもの增加し來れりといふ

●死鳥移出入 大邱商業會議所の調査に依れば□山移出門司移入鑑定價格及び税率は死鳥にありては從價の三割とし標準價格は鳥價の高低により變動するものにて一定せざる由なるが現今の鑑定價格は▲雁五圓▲鴨一圓三十錢▲雉子十錢▲白鳥一圓五十錢▲山七面鳥一圓五十錢但右は一羽の鑑定價格を示す尚税率は從價の五分なりと

朝鮮總督府試補ヲ命ス
土地調査局書記官 藤川利三郎
藤田 嗣雄

土地調査局勤務ヲ命ス
總督府書記官 和田 一郎

活動寫眞 殺面子



二十三日夜の南大門驛

盛威堂々たる寺内總督閣下を迎へた、冬としもなき風暖かき日もいつしか暮れて電燈眩ゆき夜となつた、電車を驛前に乘棄て構内に進み入れば釜山よりの午後八時十分着列車は又も約一時間半の延着を報告して居る、三等待合室の暖爐は車夫に圍繞せられて乘客は寒さう點火のまゝなる中野官邸御用の提灯が目に着くと同時に、中野とは姓名であらうか、或は官邸所在の地名であらうか、姓名とすれば御用の文字が可笑しく、地名とすれば官邸の文字が妙なりなどゝ詰らぬ考へが浮ぶ、一等室は見れば端然としてベンチに座する。上り藤の紋も鮮やかな水色縮緬の羽織に白と黒との匹田模様の上着も優なる一美人、人待ち詫ぶる風情に衆目均しく之れに注がる。午後九時三十分轟々として列車は漸く釜山より安着した。彼の美人は立つた而してブリッヂの彼方に蓮歩を運はして一等車に入る。占めた二 ブッ!! 折角の苦心も水泡に歸した、美人は老婦人を携へて柵外に出た、が、之れに反して活ける人物の入京を知り得た。秋山參事官は、浦尾旅館に投じて安らかに長途の勞を慰すべく去つた。見事なる鶴十羽の大箱は東京市日本橋區瀧山町日本電報通信社長岩永星郎殿行として差出人は京城支局長牧山耕藏と讀まれた。寄贈品丹頂双鶴剝製の大箱は人目を引いた、而して此珍品を領すべきは福井縣南條郡今莊村今莊尋常高等小學校であつて奇特なる差出人は京城南大門通り鍋島宇吉と大書してある。捨てかてなる些やかなる籠に小田原と早書きの朱線紙が見へた小田原は湘南絶勝の地、必らずや知名の士ならんと手は早くも小籠に觸れた、果然豫想は的中した。子爵淸浦奎吾殿宛の鶴であるが差出人の名が見へぬ。慈母病氣の電報に接し妻子携帶急行歸省せんとして別を敍しつゝあるは建築技手大溝銀三郎とトランクが紹介の勞を執つた、山口縣都濃郡中山町通運取引店貞木茂兵衛宛、差出人は京城中山秀一、但し添書に云はく濡物用心古着一枚原但三圓との小包便を一瞥した僕は、思はず失笑したのである。午後十時四十七分、發車の鈴聲にヒルムは終り、暗黒の街路を寒風に曝されて戻つた。

小萬拍子の再勤

▽事情はザッと下の通り

藝妓娼妓の多くは斯うなりますも親の爲め抑も妾の生れた時分は私の家も相常に暮して居りましたので口廣うムいますが妾とても乳母手車で下へも置かれず蝶よ花よと育てられ何も女の身のたしなみと三味よ踊よ琴よ香、茶と金に飽して仕た稽古が斯うした役に立たうとは習ふ妾も習はせた親も神ならぬ身の夢にも思ひも仕ませんでしたの、夫れが不圖した家の手違ひから淺間しい此の稼業、昔し思へば口惜しい事もムんすのよ……アラ勘忍して頂戴よッイ貴郎がた優しいもんだから面白くもない身の上話しに枝が出て話しが理に落ちたの、ホントに勘忍して頂戴よ……れ熱い所をサアた酌、なんかんと親は代々人力車の轅を摑んで客を迎へて世を送るさいいしいものゝ娘と生れた素性をかくしてきいあるゝしい事を申すが多い中に此れはホントに感心な藝妓と云ふは大馴染の旭町開進亭の藝妓小萬の身の上話し此の妓本名を西川すゑ（三）と呼び大阪市南區難波町芝原三百十番地の生れなるが藝妓となりし事情を聞くに實弟に西川武光なる者あり軍人希望にて士官學校に入學せん目的なるも學資全くなき爲めに目的は水泡に歸せんとする際三十八年三月武光が高等小學校卒業せし當時親ども相談の上藝妓稼業して武光の目的を達せしめんと渡鮮し開進亭に前借金四百圓にて抱へられ該金は武光の學資金に供する事になり武光は大坂地方幼年學校に入學以來成蹟優等にて本年十一月三十日卒業見習士官として名古屋第三師團に入營目下成績良好の由小萬は弟が無事に勉强し居る音信を樂しみに勉勵しつゝ手に入る金錢は小使錢を除く外は全部弟武光に送り居りし去る九月が契約年期滿了に付一應歸省せしが尚は此の後武光が士官學校卒業する迄の資金を要する爲め再び渡鮮三百圓二ケ年の契約にて同亭に抱へらるゝ事となりしはイヤ天晴れ〳〵

クリスマスと戀

▽歐洲諸國の迷信

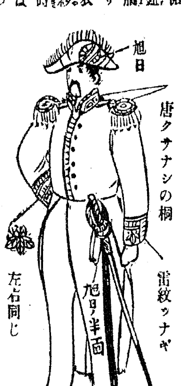
二十五日は基督降誕祭であるが此の基督降誕祭の頃になると本家本元の歐洲諸國では若き男女の間に我が國の戀の辻占、盤算などに類したさま〳〵の迷信が盛んに行はれる。歐羅巴の中部、ボヘミヤの田舍では、降誕祭の晩若き男女は村の長者の家に集つて大廣間に水滿々と湛へた大盥を据ゑて、朝の暗き時刻に割つて立いた胡桃の殼に思ふ人の名を記して赤き小蠟燭を入れて之を水上に浮べて見る。さうして思ふ同士の胡桃の船が都合善く接觸すると兩人の間に嬉しい約束の成立つたしるしとなるので但し少女は望まざる男の船の已れの船に近くを妨ぐため、水面を手もて打つて小さな波を起しても差支ないのである。墺太利の少女は降誕祭の夜遲く暗中に庖丁の先許を使つて林檎に少しも手を觸れずにこれを眞二つに割り左の半分を胸に藏めて右の半分を寢室の入口の戶の後に置く、そして此呪ひが首尾善く的中すると思ふ人が眞夜中に其入口に置いた林檎の傍に立つと云ふて居る、さて翌朝になつて其半分の林檎の核を双方算へて同數ならば緣談が成就する報知で娯つて一の核を兩斷してあるく緣るべき緣談も破れ二つの核を兩斷してあると結婚後間もなく寡婦になる前兆だといふ譯で甚だ之を忌み嫌ふのた南歐のシ、リー島では降誕祭の朝少女は部屋の窓から街路に林檎を投げて往來の人が之を拾ふ迄チッと靜座して眺めて居る、さうして其林檎の拾ひ人が男であると來年の降誕祭迄に必ず緣談があり女に拾はるゝと來年中は嫁入が六ケ敷何時迄も拾はれずに棄てゝあると結婚早々寡婦になる前兆だといふので殊に嫁入前の少女は其日は朝から林檎一つの行方に氣を揉むと夥しい。一体林檎は西洋到る處降誕祭の御馳走の献立には缺くべからざる果實の一で何人でも出來るだけ念入りに細長く剝いて之を頭に三廻捲いて更に左の肩から地上に垂して其垂した時の形態が未來の夫たり妻たるものゝ頭文字を現すか現さぬかを必ず試して見るものださうな。

蘇蘭格では男は自分を慕うて居る婦の姿が夢に現はれるやうにといつて降誕祭の晩ハンケチに九箇所結目を拵へ其内にクリマス、ツリーの葉を入れて枕の下に敷て寢る女は未來の良人を夢に見るやうに念じて滑かな葉三枚を摘み取つて言葉に異つた戀人の名を書いて枕の下に入れて置くが戀に切なる少女になると眞夜中に寢衣の儘で起き出でてクリスマス、ツリーを飾つて部屋にコッソリ忍び入り其小枝を摘んで胸に挿し井戶へ行つて水を三手桶ほど汲んで之を疑問に並べて凝につくさやらで未來の夫が三度我名を呼んで三度笑うて枕元に現はれ深く自分を愛して居ると其證據に手桶の位置を態々換へて置くかさもなくば唯部屋を通り過ぎて行くものと信じて居る。

●朝鮮貴族大禮服

を制き乘留めより裾に至るまで左右に鈕釦各二箇宛を附し胴衣は大禮の時は上衣と同じく深黒紺羅紗他の時は白羅紗袴も同じく大禮の時は黒筋は金線なり袖章上部の線と袖口の色と、帽（黒毛天鵞絨）の金線の間の色とは公爵が紫色、侯爵が緋色、伯爵が桃色、子爵が淺黄色、男爵が萠黄色とす。

地質は深黒紺羅紗にて圖の如く燕尾形竪襟、背面は腰下



民團議員豫選投票

賢明なる我が寺内總督は吾人移住民の集團的幸福を重んじ自治体存續の意味を以て今回民團議員改選の事を發令せらる、此の思慮ある總督の措置に付いては吾人は衷心より感謝せざる可らざると同時に來らんとする選擧を最も潔に最も穩に行ひ一は眞に有力なる良議員を擧げ以て總督政治の下に於ける自治体の發達を計り、他は總督府所在地住民としての面目を發揮し因つて以つて總督の深意に應ふるところ無からざるべからずと信ず。凡そ議員の選擧をして公明淸潔平穩に了らしめんとせば、其の最も排斥せざるべからざるところのものは、所謂自稱候補者の無意義なる運動と开を助くる運動屋の運動となり、嗚呼無意義の運動、之れが發しては宴會政略となり請托政略となり、其最も甚しき者に到つては脅迫若しくは買收政略となる。如斯きは獨り民團の平和を害し、且つ其の面目を傷くるのみに止らずして實に法律及道德上の大罪を犯す。嗚呼本社が民團議員の選擧に關し惡德の行はるるを憂ふるや久矣、故に之が絕滅を期せんとして今回の豫選投票を企つ其理由は大要左の如し

凡そ議員選擧混雜の原因として數ふべきもの多からんと雖も其最大原因たるや實に候補者の過多なるに存す、候補者徒らに過多にして競爭益劇甚を致す茲に於てか紛亂惡德其結果として行はる何ぞ怪しむを要せん、而らば之が救濟の途は如何、曰く、選擧に先ち輿論を以て適任候補者を定め一は以て選擧有權者をして採るところを知らしめ他は以て幾多小野心家をして所謂當選運動の無效なるべきを自覺せしむるにあり。

本社豫選投票の趣旨は右の如し、江湖の諸君冀くば本社の微意を諒し左の規定に從ひ投票に御參加あらん事を。

民團議員豫選投票規定

一、京城民團民會議員適任者と認むる者三十名を有資格者中より選出する事
一、投票用紙は本新報に刷込ある用紙に限る事 但し投票人は無記名とす
一、一枚の用紙に認むべき議員適任者の數は五人以內たるべき事
一、投票は本社前の投票箱に投入の事尤も郵送の分は京城新報社內豫選投票掛へ宛らるべし
一、締切は明治四十四年一月二十日とす但し日々に於ける投票の結果は日々の紙上に於て公にすべし
一、總開票は締切の當日若しくは翌日とす但し其結果は本紙上に公にすべし
一、總開票立會人は追つて決定の上發表すべし

右以外必要の事は追次本紙上に廣告すべし

●南部署の活動 近來西北地方結氷工事中止の爲め土方等の京城に入込む者多く此等の中には前科者大部分を占め何れも温突に閉居して賭博のみを事とし良民に迷惑する廉れあるより南部署にては過日來調査の上二十四日密行巡査を派し四十餘名を狩り本署に拘留正業に就く可き事を諭し夫れ〳〵嚴重なる懲戒を加へたりと

日曜使會（廿五日）

●京城基督教會（日之出町）午前九時より附屬學校師十時より禮拜說教及び米澤牧師の「降誕の豫告」午後七時より傳道說教及び同牧師の「人生の行路」說教あり
●京城日本基督教會（旭町四丁目）午前十時より大谷牧師の「神の犧牲」說教午後二時より南大門通り廣通館（天一銀行階上）にてクリスマン祝會あり
●メソヂスト教會（旭町二丁目）午前十時半より禮拜說教、二大禮典、木原牧師の「クリスマスを祝する所以」午後七時より傳道說教及び同教師の「平安を賜ふ主」說教あり
●同龍山講義所（井出教商會隣）午後七時半より傳道說教及び山口照平氏の「最大の恩惠」說教あり

今日の運勢

十二月廿五日 舊十一月廿三日△三碧先負甲子建天赦日△一白 神祭調査探險相談豫約試驗修交及金屬の業務に吉其他見合の事△二黑 間違多し又過失より負傷若くは器物毀損の虞れあり新事旅行婚姻商議協同の事効無し△三碧 起業開店起工入學嚴婚談結社協同旅行轉住貸借金談凶尙盜害の恐れあり△四綠 己れを削りて人を益する事あり色情の紊れを戒しむ新事旅行凶△五黃 盜害及紛爭避くべし新事旅行保證貸借見合せの事建築動工に吉△六白 諸事手控への事起業起工開店旅行轉住に尤も忌む△七赤 建築農業に吉其他諸事手控への事外誘を斥くべし△八白 金談貸借保證不動産上の事新事旅行に忌む其他總じて徒勞に歸し易し△九紫 紛爭衝突を戒しむ其他大抵進んで吉

十二月廿六日 舊十一月廿四日「黑佛滅乙丑除△一白 起業起工開店旅行保證貸借連盟協同の事に忌む林業及建築に吉△二黑 役要領の日諸事手控へ轉住凶△三碧 貸借取引金談證券の故障を防ぎ保證受印の煩を避くべし新事旅行の事又負傷衛生注意の事新事旅行見合せの事△四綠 金品授受證券の故障起り易し新事旅行婚談見合せの事△五黃 世話保證事を禁ず俠氣に騙られ又匹夫の勇に揮ふ勿れ其他平和△六白 療病衛生に注意の事其他進んで吉婚談養子縁組尤も妙△七赤 雇入れ見女の事に忌む其他諸事進んで吉△八白 轉住旅行轉業改革整理調査模樣替方針替 吉其他控へ目の事△九紫 平和の日なり殊に商談會見修好熟議婚談協同中裁に吉

●天氣豫報 自廿四日午後六時 至廿五日午後六時

南東の風晴れ後曇

瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目百十四番戸
酒井紀　電話一一四九番

◎貸金
旭町二ノ一五 別府
有抵當にて極秘密に低利融通可申候
高橋

質
京城太平町二丁目三番元黑澤邸跡確實な擔保低利貸金融通す並古着賣買
宮永金藏
京城支店

質
京城旭町一丁目度支部官舍向側横路突當
旭町二丁目自府廳裏路山突當
鹽見質店

◎景品付賣出界の福音!!!
京城本町二丁目日希商會にて賣御買上相成り景品券を得られ候顧客樣の内第一等に御當籤相成りたる方へは祝意を表し特に英國製ウイスキー一打入一函進呈可仕候
本町二丁目
洋酒及食料品其他賣附商品一切卸小賣
日希商會
電話三三三

各位

三
四十四年四月判斷錄。謹嚴至誠の易斷と幹枝九星五行の精理より推斷し月々の運氣方位進退事故病傷盛衰發猶創業改革移動の有無利害
京城本町五丁目 三一館
地方人士は右鑑定料一圓五十錢郵税九錢及業務年齡通知を要す

入院隨意
內科 小兒科 梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)

恩給年金立替
諸公債券現物賣買
恩給年金者へ便利長期
確實取引月一歩五厘
京城中部壽進坊相思洞廿九統七戸下宿業博多屋方
上州屋支店
電話九百五番

土地建物鑛山株券賣買
貸家管理の囑托を受く
一百町歩の果樹園適地買入たし
田、畓、山、金銀、黑鉛鑛買たし
京城明治町三丁目
小林藤商店
商品其他擔保に貸金す
市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり
市內家宅賣物數多あり
電話六五五番

見落給ふな
特別大景品附大賣出し
今般聯合大賣出の擧に座し當商會も加入罷在候間得ば倍舊の御厚情に預り度かゝる稀に歡なるゆゑ爲め特別左の規定を設け大々的大賣出仕候間機を見逃さず續々御來求あらん事を伏希仕候
洋傘各種　ロ寶各種　寶各種
デーエスパ子レス商會

特別規定
當商會より差出せし聯合景品券(當商會スタンプ押捺あるもの)にて左記當籤者には下記の特別景品を呈す
一等、當籤者へは金口寶四千本　二等、當籤者へは同樣一千本
三等、當籤者へは同樣六百本　四等、當籤者へは同樣五百本
五等、當籤者へは同樣三百本　六等、當籤者へは同樣二百本
七等以下二十等までの當籤者へは各五十本宛
下四十等までの當籤者へは各百本宛三十一等以
期日十二月十日より同月三十一日まで
(注意)贈與期限あれば至急好機を逸せられざるは諸君の賢なる處なり
右歲末年始贈品に適當に付多少共御用命願上候

東京建物株式會社京城派出所
資本金五百萬圓
本店東京日本橋區吳服町
支店派出所　橫濱　天津　釜山　京城
營業科目
土地建物抵當貸附
月賦償却建物建築
土地建物賣買紹介
京城旭町二丁目百十五番戶
電話番號一六八一番

均一價格
十二月一日より十二月卅一日まで聯合大賣出し
金一圓毎に景品券一枚宛進呈す
獨逸ボックス一枚皮七圓五十錢
深ゴム網上靴七圓五
東洋ボックス深ゴム網上靴四圓
ゴム網上實用靴三圓六十錢
右聯合大賣出し中は特別精品を均一價格にて大賣出し致し其の上金一圓毎に景品券一枚宛進呈仕候間續々御來店御用命仰付被下度伏而奉願上候
京城本町一丁目
富田靴店
電話九一九番

開業御披露
牛、鳥すき燒
安直と美味の特色を以て左記の所へ開業致し候間四方の御客樣一度御來駕あつて御試味の程希上候
明治町二丁目
勸商場二階
大和家

謹告
一弊商會儀左記の品々極めて薄口錢を以て誠實に直輸入の御契約可申上候間數量の多少に拘らず下名迄御談合被下度願上候
一、佛國レロイ會社壁紙、金具其他建築材料一切
一、洋反物類一切、藥材及諸器械
一、自轉車、自動車、銃砲類、諸雜貨、裝飾用品一切
一、空中飛行機類、活動寫眞機類
右何れも見本品多數備付居候尙高尙優美なる壁紙多數持合有之候
京城大漢門わき(電話九九五番)
エル、ロンドン商會
吉岡信太郞

義齒術一般
京城明治町一丁目(森、村質店隣)
取次電話六六九番
榊忠司

佐賀セメント
今回販賣致し候に付多少に不拘御用命被仰付度奉願候
佐賀セメント株式會社
京城代理店
南山町二丁目
電話三四四番
山村商店

最新刊
日本書畫人名辭書
日下部鳴鶴先生題字　寺崎廣業先生題書　永坂石埭先生序
山岡米華先生題書　荒木十畝先生題書　山田寅村先生序
和裝頗る美本全參冊
正價壹圓參拾錢
郵税金拾貳錢
東京市京橋區南傳馬町一丁目
振替東京二〇三〇番
電話本局三七四番
松山堂

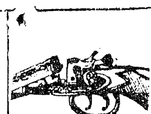
全國聯合廣告

碁
初めて碁を學ばんと欲する人及速成を望む人は直に本會に入れ!
●通信教授會員募集
規則は要往復はがき
東京神田美土代町
振東京一〇五八九
中央圍碁會

書畫紹介
現今書畫諸大家揮毫紹介の勞を取る希望の方は郵券三錢封入御申越あらば一覽表及手續書を呈す
東京下谷二長町三十四番地
加納三星堂

印刷用インキ
印刷諸機械●印刷材料品類
東京築地
東洋インキ(?)　求林堂

男女簿記生募集
規則入用金貳錢を要す
隨時入學を許す
速成一ヶ月卒業就一科
東京神田美土代町
電本局三三三六番
大原簿記學校



◎獵期
◎各種新式獵銃、獵具類、護身用新形拳銃、村田銃、彈丸
◎最新なる杖形空氣銃一粒の火藥、一發の雷管を要せずして散彈にて鳥獸類を射殺し得る
◎其他少年用空氣銃、小鳥討兼射的銃、
◎火藥、雷管、鑛業用火藥、爆藥類并に附屬品一式
右精良品を安價に販賣致候間御照會被下度希上候也
東京市四谷區傳馬町一丁目
振替口座一八三八一番
內山銃砲店

明治製版所
東京市京橋區新肴町十八番地
電話新橋二四九
每月五日寫眞發行　ダイムス　定價郵共金廿六錢
親切と入念と神速とは本所の營業方針なり
寫眞銅版

最新刊
ドクターオフペダゴヂー 西山悊治
最近思潮 實際教育之新研究
著者は多年海外にあり新進氣鋭の教育家なり新進國にありて其新教育の實施に就て文部省に報告せしものは凡て本書に收むこれ著者歸朝第一の著述にして職業教育工場法案と小兒勞働道德教育英語教授法等に關する最近思潮を縱橫に論議せしもの切に教育家宗教家警世家の一讀を乞ふ
菊版上製　定價金八拾五錢　郵税金八錢
東京市神田區小川町
振替第一三三三六番
敬文館

哲學博士 山口三之助
實用催眠術講義
上中下 三冊
定價金壹圓送料八錢
東京麴町區飯田町參ノ十七
帝國催眠學會
此書ニ依リテ研究セバ容易ニ治療矯正上ニ應用スルコトヲ得ベシ

東京芝元治館扱
獨逸語通信教授
講師竹內楠三先生新式の心理的系統的速成教授法を以て獨逸語通信教授を開始せり入會希望者詳細規則內容見本郵券五錢
○東京四谷荒木町廿七 獨逸語通信學會

セキズイ
病は不治の病にあらず醫家傳の靈藥は多年の難病もよく奇効を奏するは服藥者の證狀に依てあきらかなり同病者一日も早く服用し天壽を全ふせられよ往復はがきにて御照會次第委細御通知可申候
東京牛込早稻田鶴巻町一六六田中賣舖

十二月十三日ヨリ十二月二十八日迄
景品附大賣出シ
景品ハ福引券ト即時引換申候
但シ福引券ハ五十錢毎ニ一枚進呈
家具・簞笥
漆器・金物
唐木細工物
メリヤス類
荒物一式
Ⓗ
京城本町一丁目
平田商店

年末年始贈答品
和洋御菓子並ニ祝餠
右精々勉强調進候に付多少に拘はらず御用命被下度希上候
追て聯合大賣出に加入致居候
京城本町五丁目
和洋菓子調進所
岸川永樂堂
電話千五百十一番

年末年始御進物品
サッポロビール
アサヒビール
一打半打化粧箱
並に切手調進
外に
淸涼飲料 ミュンヘンビール シトロンも
御便利の爲め
一打箱入切手調進仕候

◎衛生家の新光明
理想式模範牛乳
蓬萊町四丁目
生牛乳
消毒牛乳
場主 獸醫 東亞牧場
肥塚正太
(電話五二番)

資本金五百萬圓
神戶海上運送火災保險株式會社
出張所
京城明治町一丁目
(電話一五四九)

淸酒正宗
政宗
正則
釀造元
上酒
小賣壹升に付三十錢
淸酒味淋燒酎釀造元並に日用食料品雜貨類
卸賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候